

18th 体育祭り



禾二小マーチングバンド

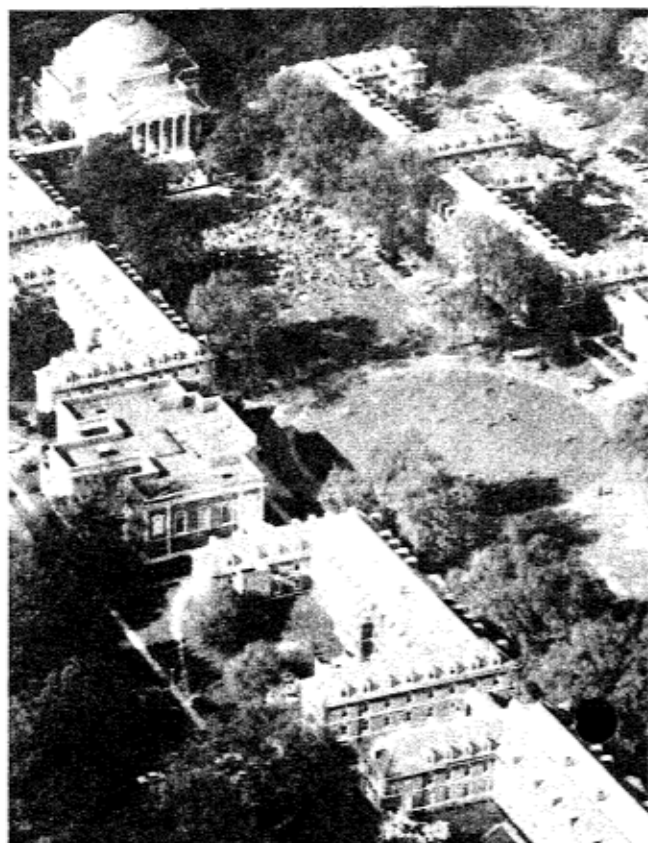


第十八回体育祭りの開会式が、七月十二日に市営住吉球場において盛大に行われました。本年は、開会式に先立ち「かいじ国体」総合開会式婦人部門集団演技（婦人会）の「武田節」「ふれあい音頭」や、楽山球場で行われる軟式野球の開始式の公開演技に出演する、禾生第二小学校のマーチングバンド、ガールスカウトによる鼓笛パレードなどが披露されました。

ブラウニーの遊技



上谷地区体育振興会草薙昇さんによる選手宣誓



二期の実績をもつ現職を破って当選してきました。この青年市長の誕生に、しかし、市民は全く平静で、別に珍らしくもないという感想でした。そういえば、かつてケネディ大統領が就任したのが四十三歳のときで、昨年交代したデューク大学の新総長が四十七歳、名門イェール大学の新総長が四十三歳と聞くと、うなづけます。

の仕組みを十分に生かしていくには、国民・住民に相当な負担が伴うのも事実です。アメリカでは通常、大統領、連邦の上下両院議員、州知事、州の上下両院議員、市長と市議員、郡コミッショナーは公選で、しかもその各々について候補者を決める予備選挙が行われますし、多くの州では、州の裁判官、検察官、教育委員なども公選によって選んでいますから、これだけでもかなりの負担になることが

うかがえます。市民の手による、市民に開かれた政治というのは、市民が常に市政に関心をもち、それを監視し、積極的に働きかけていくことがなければ、実現しません。アメリカ式民主主義は、こうして、市民の多大な自発性と忍耐と負担によって支えられていて、またそうであるからこそ、本当の自治が成り立っているのだと、つくづく感じました。